

2017年度 中間期

# 株 主 通 信

2017年1月1日～2017年6月30日

**BUSINESS REPORT 2017**

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ごあいさつ .....             | 1  |
| マネジメントメッセージ .....       | 2  |
| 特集 1                    |    |
| 「IBI 18の取り組みについて」 ..... | 5  |
| TOPICS .....            | 6  |
| 主な臨床開発の状況 .....         | 7  |
| 主要製品 .....              | 9  |
| くすりのはなし .....           | 10 |
| 特集 2                    |    |
| 「革新的な医薬品をつくる生産体制」 ..... | 11 |
| 第5回株主様工場見学会のご報告 .....   | 11 |
| 会社の概況／株式の概況 .....       | 13 |
| 株主インフォメーション .....       | 14 |

すべての革新は患者さんのために

**中外製薬株式会社**

証券コード 4519



左：会長 永山 治 右：社長 小坂 達朗

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2017年度中間期(2017年1月1日から2017年6月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年8月

代表取締役会長  
最高経営責任者

永山 治

代表取締役社長  
最高執行責任者

小坂 達朗

## Core実績連結財務ハイライト (2017年1月1日～2017年6月30日)

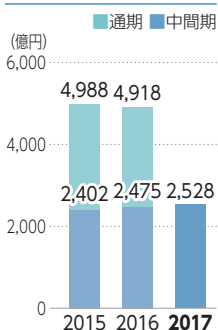
**売上収益** 2,528億円  
(前年同期比 2.1%増) ▲

**営業利益** 502億円  
(前年同期比 13.8%増) ▲

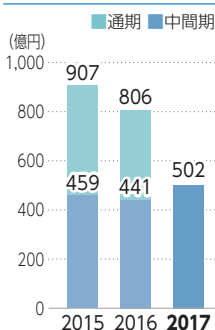
**四半期利益** 388億円  
(前年同期比 19.8%増) ▲

**研究開発費** 424億円  
(前年同期比 5.7%増) ▲

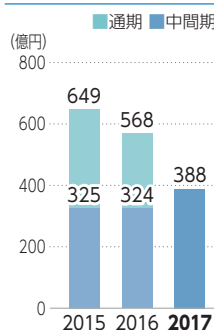
### 売上収益



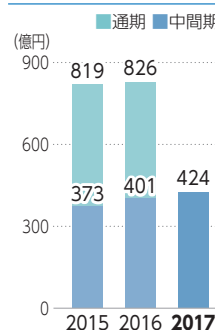
### 営業利益



### 四半期利益



### 研究開発費



▶ より詳細な業績の情報は、当社のIRサイト <https://www.chugai-pharm.co.jp/ir> をご覧ください。

中外製薬 IR

検索

# 革新的な新薬を 継続的に提供するために



代表取締役会長 最高経営責任者 永山 治

## ■ 薬価改定<sup>※1</sup>の影響を受けながらも売上収益を拡大

2017年度中間期の連結業績(Core実績<sup>※2</sup>)は、製商品売上高が国内の薬価改定の影響等により微減となったものの、ロイヤルティ<sup>※3</sup>及びその他の営業収入が増加した結果、売上収益が2,528億円(前年同期比2.1%増)となりました。利益面では、増収効果に加えて製品別売上構成比の変化等により製商品原価率が改善し、経費の増加をカバーしたことから、営業利益502億円(同13.8%増)、四半期利益388

億円(同19.8%増)と、増益を確保しました。

国内製商品(「タミフル」を除く)の売上高は、前年の薬価改定の影響等を受け、1,830億円(同0.7%減)となりました。がん領域では「アレセンサ」が順調に伸長しましたが、前年4月に特例拡大再算定<sup>※4</sup>の対象品目となった「アバスチン」をはじめ、主力製品の売上が減少しました。骨・関節領域は「エディロール」「アクテムラ」「ボンビバ」が堅調に推移し、増収となりました。腎領域は「オキサロール」「ミルセラ」が薬価改定

## ☑ 用語解説

### ※1 薬価改定

医薬品の価格が適正な値段となるように、厚生労働省により2年に1回行われる価格調整。2016年4月に改定が行われた。

### ※2 Core実績

当社事業の核(コア)である医薬品事業から発生する経常的な収益性を管理するための指標。IFRS(国際会計基準)実績から、当社が非経常的と捉える事象に係る損益等を除いたもの。

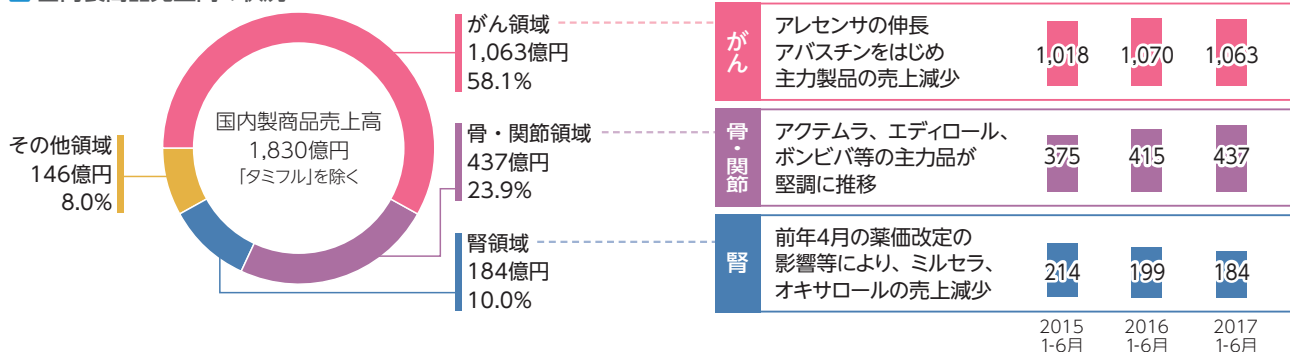
### ※3 ロイヤルティ

知的財産のライセンス契約に基づき売上金額などに応じて生じる対価。

### ※4 特例拡大再算定

2016年度より、従来からある市場拡大再算定の特例として新規に導入され、「年間販売額1,000億円超1,500億円以下、かつ予想販売額1.5倍以上」では最大25%、「年間販売額1,500億円超、かつ予想販売額1.3倍以上」では最大50%、それぞれ薬価を引き下げる仕組み。

## 国内製商品売上高の状況



の影響等を受けたことから、減収となりました。なお「タミフル」の売上高は82億円(同12.3%増)となりました。

海外製商品の売上高は、「アレセンサ」のロシュ向け輸出が大きく増加しましたが、「アクテムラ」のロシュ向け輸出が為替変動の影響等を受けて減少したため、457億円(同0.2%減)にとどまりました。

ロイヤルティ及びその他の営業収入は、マイルストーン収入<sup>※5</sup>等が前年実績に比較して増加したことにより、159億円(同54.4%増)となりました。

## 承認取得の進展とともに開発パイプラインを拡充 希少がんの共同研究プロジェクトに参画

次に、開発パイプラインの状況についてご説明します。

製造販売承認の申請・取得では、「アレセンサ」がグリゾチニブ治療後のALK陽性非小細胞肺癌を適応症として欧州

### 用語解説

※5 マイルストーン収入  
知的財産のライセンス先企業等から支払われ、契約内容に応じて生じる一時的な収入。

等で承認を取得し、また、ALK陽性非小細胞肺癌(一次治療)を予定適応症として米国・欧州で承認申請したほか、「アテゾリズマブ」は非小細胞肺癌を予定適応症として日本で承認申請しました。がん領域以外では、「アクテムラ」が巨細胞性動脈炎を適応症として米国で承認を取得し、欧州では欧州医薬品委員会より承認勧告を受領しました。また、「エミシズマブ」は血友病A(インヒビター保有)を予定適応症として、米国・欧州および日本で承認申請しました。

臨床試験の進捗では、「アテゾリズマブ」はトリプルネガティブ<sup>※6</sup>乳がん(ネオアジュバント<sup>※7</sup>)を予定適応症として、「RG7440(ipatasertib)」は前立腺がんを予定適応症として、「RG7412(crenezumab)」はアルツハイマー病を予定適応症として、それぞれ第Ⅲ相国際共同治験を開始しました。また「スベニール」は変形性膝関節症および肩関節周囲炎を予定適応症として中国で第Ⅲ相臨床試験を開始しました。

※6 トリプルネガティブ  
2種類の女性ホルモン(エストロゲン、プロゲステロン)受容体およびHER2受容体がない乳がん。

※7 ネオアジュバント  
術前補助療法。手術前に抗がん剤の化学療法や放射線治療を行って病巣を縮小させ腫瘍を切除するための治療。

新たに開発ステージに入ったプロジェクトとしては、固形がんを予定適応症とする「RG7421 (cobimetinib)」、関節リウマチを予定適応症とする「RG7845」、脊髄性筋萎縮症を予定適応症とする「RG7916」が、いずれも第I相臨床試験を開始しました。

なお当社は5月、前述の「エミシズマブ」について、韓国 JW Pharmaceutical社とのライセンス契約を締結しました。本契約に基づき、当社は「エミシズマブ」の韓国における独占的販売権を同社に付与し、同社より契約一時金およびマイルストーン、売上額に応じたロイヤルティを受領します。

さらに、研究開発体制における新たな動きとして、国立研究開発法人国立がん研究センターが中心となり製薬企業が参画する「MASTER KEYプロジェクト」に関し、同センターとの共同研究契約を7月に締結しました。「MASTER KEYプロジェクト」は、同センターが有する先端的な研究開発のノウハウと研究支援機能に、製薬企業が持つシーズと開発戦略等を融合させ、網羅的かつ効率的に希少がんの治療開発を進めるための基盤構築を目指すものです。当社は同センターと協働し、希少がんに対する革新的な医薬品の研究開発およびゲノム医療を推進していきます。

## ■ 通期業績は増収増益予想を維持 年間配当額は前年同期比6円増配を予定

当社は、2016年より3ヵ年中期経営計画「IBI 18」を始動し、「グローバルトップクラスの競争力獲得・発揮」と「成長加速

への選択と集中」による変革を進めています。2年目となる2017年は、「グローバル・国内成長ドライバーへの集中」「抗体改変プロジェクトの創出と中分子技術の開発」、そして今後各都道府県で整備が進む地域医療構想に対応するための「ソリューション提供体制改革の実行」(5ページご参照)の3つを重点方針に掲げ、取り組みを加速しています。

通期の業績については、がん領域の「アレセンサ」、骨・関節領域を中心に製商品売上高の伸びが見込まれ、ロイヤルティ及びその他の営業収入の増加も期待できることから、売上収益5,205億円(同5.8%増)、営業利益920億円(同14.1%増)、Core EPS 124.11円(同21.1%増)と増収増益を見込んでいます。これに対して当中間期の業績は、売上収益が48.6%、営業利益が54.6%の進捗率となっており、概ね順調な営業状況を示しています。

また、株主の皆様への利益還元については、Core配当性向50%を目処とする安定配当の実施を目標としています。これに基づき今回の中間配当は、予定通り1株当たり29円(同3円増)とさせていただきます。期末配当も同額を予定しており、合わせて年間配当額は58円(同6円増)、Core配当性向は46.7%となる見通しです。

当社は、国内外において革新的な新薬を継続的に提供する、日本のトップ製薬企業への飛躍を実現してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# IBI 18の取り組みについて



INNOVATION BEYOND IMAGINATION  
創造で、想像を超える。

## 「エリア最適化」と「専門性の強化」をテーマとした改革

2018年の医療制度改革により医療提供体制は、各都道府県が主導することになる予定です。こうした環境変化を踏まえ、当社では地域特性に応じたエリア単位のきめ細かな戦略推進を実現すべく、2015年から体制の見直しを進めてきましたが、2017年4月から営業・メディカル・安全性の3本部の新たな協働体制を構築し、国内ソリューション提供体制の改革を推し進めます。

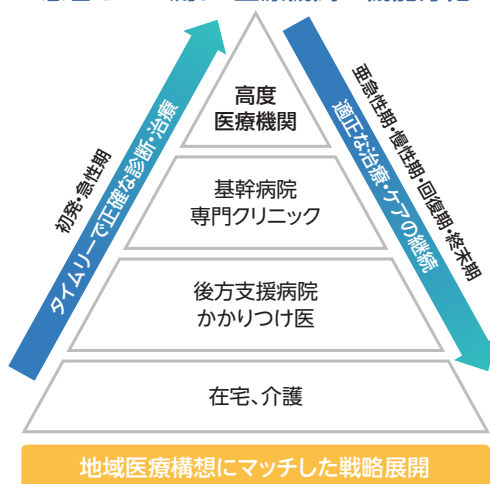
重点テーマは、「エリア最適化」と「専門性の強化」です。具体的には、まず営業組織を抜本的に刷新。これまでの11支店を36支店に分割し、7つの統括支店を新設することで、支店単位のエリア戦略を推進していきます。さらに、「オンコロジー」と「プライマリー」という疾患領域で分けて

いたユニット制を廃止。全領域をカバーし、基幹病院などにも対応できる「ゼネラルMR」と、がん、自己免疫疾患などスペシャリティ領域を担当する「専門MR」を配置します。

これと合わせ、メディカルアフェアーズ分野では、メディカルサイエンスリエゾンを新設し、エリア単位でのエビデンス創出とサイエンスコミュニケーション活動に注力していきます。

そして、医薬安全性分野では、医療従事者や業界からの注目の高い「調査・副作用データベース」(2016年開発)を各MRが活用することで、質の高い情報提供を実現するとともに、各統括支店に「セーフティエキスパート」を新たに配置。エリア単位での安全性コンサルテーションや医師・薬剤師の先生方とのネットワークを構築し、疫学的取り組みの加速を図ります。

### 患者さんの流れ・医療機関の機能分化



### 当社が提供する価値

- 最新エビデンス提供
- 個別症例コンサルテーション
- 安全性情報提供
- 疾患啓発、受診勧奨
- 早期診断治療促進
- 治療継続支援
- チーム医療／地域医療連携促進
- 医療経済性情報

### 成功へのカギ

#### 専門性の強化

- ▶ 専門病院、急性期病院への重点的MR資源投入
- ▶ がん、リウマチ、腎臓、移植免疫への専門MR投入強化

#### エリア最適化

- ▶ 都道府県単位でのきめ細かな戦略の立案と実行
- ▶ 支店への権限委譲とバックオフィス体制整備
- ▶ ゼネラルMRの配置により、「オンコロジー」「プライマリー」両領域をカバーする連携支援体制
- ▶ 潜在患者さんへの治療アクセスの仕組み作り
- ▶ 機動的、効果的なエリア独自の流通戦略実行

## AYA世代がん患者さんや その家族向けWebサイトを開設

—がんと生きている思春期・若年成人世代の未来のために—

当社は「患者さんが希望をもって前向きに立ち向かえるがん医療の実現」を目指し、若年層のがん患者さん向けWebサイト「AYA\* Life(あや ライフ)」を開設いたしました。



がんと向き合う若年層の患者さんやその家族の不安を少しでも軽減し、悩みの解消に少しでも役立つWebサイトを目指しております。

AYA Life <https://aya-life.jp/>

※AYA: Adolescent and Young Adult (15～39歳前後の思春期・若年成人)

## 「第19回 日経アニュアルリポートアワード」 2年連続グランプリ受賞

当社が2016年3月に発行した「アニュアルレポート2015」が、「第19回 日経アニュアルリポートアワード」において国内No.1の評価となるグランプリを受賞しました。昨年に引き続き、2年連続のグランプリ受賞となります。

「アニュアルレポート2015」では、全体の構成を抜本的に見直し、分かりやすさを重視した「独自の統合報告」の形としました。特集では、中期経営計画「IBI 18」における当社の強みがもたらす成果の事例を紹介しております。

今後も多くのステークホルダーの皆様にご満足いただけるよう、より一層分かりやすい情報開示を行ってまいります。



「アニュアルレポート」は以下よりご覧いただけます。

[https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports\\_downloads/annual\\_reports.html](https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports_downloads/annual_reports.html)

## 3年連続「なでしこ銘柄」に選定

—ダイバーシティ&インクルージョンへの積極的な取り組みが外部機関から継続評価—



当社は女性活躍推進に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所より平成28年度「なでしこ銘柄」に3年連続で選定されました。

人財こそが企業の成長・発展を生み出すかけがえのない資産であるという基本理念のもと、今後もすべての従業員がいきいきと活躍できるような職場環境・組織風土の整備に取り組んでまいります。

## 外来がん治療における多職種連携SNSと連動した服薬適正化支援アプリの試行を開始

当社と株式会社日本エンブレースは、患者さんと医療従事者とのコミュニケーションを円滑にすべく、多職種連携SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)と連動した服薬適正化支援アプリの試験的実施を一部の基幹病院にて開始いたしました。

このアプリは、がん治療におけるチーム医療を促進するために開発したサービスで、アプリと医療介護従事者専用開発された完全非公開型SNSである「MedicalCareStation(メディカルケアステーション)」を連動させることで、副作用マネジメントが特に必要な患者さんにおける服薬適正化の向上に資すると考えられます。



服薬適正化支援アプリの多職種連携SNSと連動(イメージ図)



# 主な臨床開発の状況 (2017年7月27日現在)

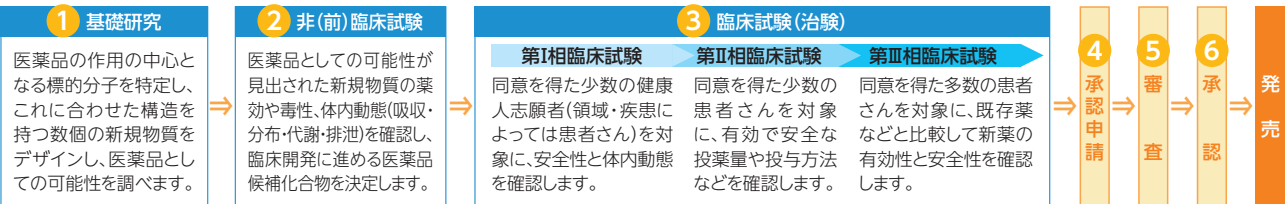
| 開発コード<br>一般名／製品名／剤形                | 予定適応症                   | 開発<br>地域 | ステージ(時期) |     |     |      |      |    |
|------------------------------------|-------------------------|----------|----------|-----|-----|------|------|----|
|                                    |                         |          | 第Ⅰ相      | 第Ⅱ相 | 第Ⅲ相 | 申請中  | 承認   | 発売 |
| がん領域                               |                         |          |          |     |     |      |      |    |
| AF802／RG7853<br>アレクチニブ塩酸塩／アレセンサ／経口 | 非小細胞肺がん[クリゾチニブ後]        | 欧州       |          |     |     |      | (2月) |    |
|                                    | 非小細胞肺がん[一次治療]<br>(適応拡大) | 海外       |          |     |     | (3月) |      |    |
| RG435<br>ベバシズマブ／アバスタチン／注射          | 腎細胞がん(適応拡大)             | *        |          |     |     |      |      |    |
| RG1273<br>ペルツズマブ／パージェタ／注射          | 乳がん(アジュバント)(適応拡大)       | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 胃がん(適応拡大)               | *        |          |     |     |      |      |    |
| RG3502<br>トラスツズマブ エムタンシン／カドサイラ／注射  | 乳がん(アジュバント)(適応拡大)       | *        |          |     |     |      |      |    |
| GA101／RG7159<br>オビヌツズマブ／製品名未定／注射   | 低悪性度非ホジキンリンパ腫           | *        |          |     |     |      |      |    |
| RG7446<br>アテゾリズマブ／製品名未定／注射         | 非小細胞肺がん                 | 日本       |          |     |     | (2月) |      |    |
|                                    | 非小細胞肺がん(アジュバント)         | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 小細胞肺がん                  | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 尿路上皮がん                  | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 筋層浸潤尿路上皮がん(アジュバント)      | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 腎細胞がん                   | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 腎細胞がん(アジュバント)           | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 乳がん                     | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 卵巣がん                    | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 前立腺がん                   | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 前立腺がん                   | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | 肝がん                     | *        |          |     |     |      |      |    |
|                                    | CKI27<br>一般名未定／製品名未定／経口 | 固形がん     | 日本       |     |     |      |      |    |
|                                    |                         | 海外       |          |     |     |      |      |    |
| RG7596<br>ポラツズマブ ベドチン／製品名未定／注射     | 非ホジキンリンパ腫               | 日本       |          |     |     |      |      |    |
| RG7604<br>taselisib／製品名未定／経口       | 固形がん                    | 日本       |          |     |     |      |      |    |
| ERY974<br>一般名未定／製品名未定／注射           | 固形がん                    | 海外       |          |     |     |      |      |    |
| RG7421<br>cobimetinib／製品名未定／経口     | 固形がん                    | 日本       |          |     |     |      |      |    |
| 骨・関節領域                             |                         |          |          |     |     |      |      |    |
| ED-71<br>エルデカルシトール／エディロール／経口       | 骨粗鬆症                    | 中国       |          |     |     |      |      |    |
| NRD101<br>精製ヒアルロン酸ナトリウム／スベニール／注射   | 変形性膝関節症／肩関節周囲炎          | 中国       |          |     |     |      |      |    |



| 開発コード<br>一般名／製品名／剤形               | 予定適応症           | 開発<br>地域 | ステージ(時期)    |     |     |     |      |    |
|-----------------------------------|-----------------|----------|-------------|-----|-----|-----|------|----|
|                                   |                 |          | 第Ⅰ相         | 第Ⅱ相 | 第Ⅲ相 | 申請中 | 承認   | 発売 |
| 腎領域                               |                 |          |             |     |     |     |      |    |
| EOS789<br>一般名未定／製品名未定／経口          | 高リン血症           | 日本       | <div></div> |     |     |     |      |    |
|                                   |                 | 海外       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| 自己免疫疾患領域                          |                 |          |             |     |     |     |      |    |
| MRA／RG1569<br>トシリズマブ／アクテムラ／注射     | 巨細胞性動脈炎(適応拡大)   | 米国       | <div></div> |     |     |     | (5月) |    |
|                                   |                 | 欧州       | <div></div> |     |     |     |      |    |
|                                   | 大型血管炎(適応拡大)     | 日本       | <div></div> |     |     |     |      |    |
|                                   | 全身性強皮症(適応拡大)    | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| SA237／RG6168<br>一般名未定／製品名未定／注射    | 視神経脊髄炎          | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| RG7845<br>一般名未定／製品名未定／経口          | 関節リウマチ          | 日本       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| 神経疾患領域                            |                 |          |             |     |     |     |      |    |
| RG1450<br>gantenerumab／製品名未定／注射   | アルツハイマー病        | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| RG7412<br>crenezumab／製品名未定／注射     | アルツハイマー病        | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| RG7916<br>一般名未定／製品名未定／経口          | 脊髄性筋萎縮症         | 日本       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| その他領域                             |                 |          |             |     |     |     |      |    |
| ACE910／RG6013<br>エミシズマブ／製品名未定／注射  | 血友病A(インヒビター保有)  | 海外       | <div></div> |     |     |     | (6月) |    |
|                                   |                 | 日本       | <div></div> |     |     |     | (7月) |    |
|                                   | 血友病A(インヒビター非保有) | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| RG3637<br>レプリキズマブ／製品名未定／注射        | 特発性肺線維症         | *        | <div></div> |     |     |     |      |    |
| CIM331***<br>nemolizumab／製品名未定／注射 | 透析そう痒症          | 日本       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| URC102<br>一般名未定／製品名未定／経口          | 痛風              | 海外       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| PCO371<br>一般名未定／製品名未定／経口          | 副甲状腺機能低下症       | 海外       | <div></div> |     |     |     |      |    |
| SKY59／RG6107<br>一般名未定／製品名未定／注射    | 発作性夜間ヘモグロビン尿症   | *        | <div></div> | **  |     |     |      |    |

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています。  ：2017年1月以降の進捗  
\*：国際共同試験      \*\*：第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験      \*\*\*：アトピー性皮膚炎は導出先にて開発（海外：Galderma社 国内：マルホ株式会社）

**新薬ができるまで** 薬の候補化合物の発見から医薬品として発売するまでに9年から17年近くの年月がかかります。



## がん領域

|                     |        |
|---------------------|--------|
| アバスチン <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |
| ハーセプチン <sup>®</sup> | 抗悪性腫瘍剤 |
| リツキサン <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |
| アレセンサ <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |
| ゼローダ <sup>®</sup>   | 抗悪性腫瘍剤 |
| パージェタ <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |
| タルセバ <sup>®</sup>   | 抗悪性腫瘍剤 |
| カドサイラ <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |
| ゼルボラフ <sup>®</sup>  | 抗悪性腫瘍剤 |



アバスチン<sup>®</sup>

## 腎領域

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| ミルセラ <sup>®</sup>   | 腎性貧血治療剤         |
| オキサロール <sup>®</sup> | 二次性副甲状腺機能亢進症治療剤 |

## 骨・関節領域

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| アクテムラ <sup>®</sup>  | 関節リウマチ治療剤 |
| エディロール <sup>®</sup> | 骨粗鬆症治療剤   |
| ボンビバ <sup>®</sup>   | 骨粗鬆症治療剤   |
| スベニール <sup>®</sup>  | 関節機能改善剤   |



アクテムラ<sup>®</sup>

## その他の領域

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| セルセプト <sup>®</sup> | 免疫抑制剤         |
| タミフル <sup>®</sup>  | 抗インフルエンザウイルス剤 |

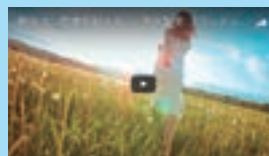
## 会社紹介動画、テレビCMを配信中

当社の会社紹介動画やテレビCMは、当社の公式YouTubeチャンネルで公開しております。  
下記URLにアクセスしていただき、動画内のリンクをクリックすると外部サイトに移動しますので、ご覧いただきたいとします。

<https://www.chugai-pharm.co.jp/profile/ad/movie.html>



会社紹介動画



中外ブランドムービー



中外オンコロジームービー



# くすりのはなし 13



日常生活の中でお役に立つ“くすりのはなし”。今回は、くすりの正しい使用についてのおはなしです。

詳しくはホームページをご覧ください

中外製薬 からだとくすりのはなし

検索



## くすりを正しく使う

### 用法・用量・使用期限

#### ● 用法・用量

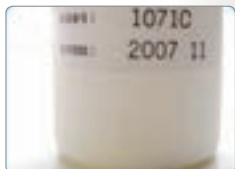
治療の途中で薬をやめてしまった  
り、病院で処方された薬を飲んでい  
る時に市販の薬を合わせて飲んでしまったり…。このように用法・  
用量を守らずに誤った使い方をすると、期待される効果や安全  
性に影響が出る場合があります。また治療が長引き回復が遅れ  
てしまうことがあるので、薬は用法・用量を守って使いましょう。



#### ● 使用期限

##### 市販薬の場合

外箱に使用期限が記されているの  
でそれを必ず確認して正しく使いま  
しょう。開封した後は使用期限まで使  
うことができないことがあります。製  
薬会社や購入先に確認しましょう。



##### 処方薬の場合

処方薬は、患者さんの体調や症状などに合わせて医師が処方  
したものです。調剤された薬は薬袋の日数内に使い切るのが原則です。

##### 期限切れにご注意

薬には使用期限があります。期限の切れた薬は絶対に使用し  
ないこと。

古くなれば錠剤が固くなって溶けにくくなったり、軟膏などの  
油分が分離してしまったりして、効き目が悪くなることがありま  
す。薬は、食品と同じように生ものだと考えて、古くなったら使わ  
ないようにしましょう。

### 医薬品の正しい使用の流れ(急性疾患)

- 1 体調がすぐれない…
- 2 医療機関へ
- 3 医師による問診
- 4 的確な診断
- 5 最適な薬剤・剤形の処方
- 6 調剤
- 7 正しい使用方法の情報の入手
- 8 適切な用法・用量で使用
- 9 安静
- 10 回復へ



### 患者さんが独自に判断しないこと

処方薬は、患者さんの体調や症  
状などに合わせて医師が処方した  
ものです。ですから、同じような症  
状のときに自分の判断で使ったり、  
ほかの人に勧めたりしてはいけま  
せん。自分の考えだけで使用する  
と、効果が無かったり、症状の悪化  
や思わぬ副作用が出たりすること  
があるので、絶対にやめましょう。



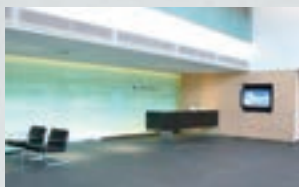


# 特集2 革新的な 医薬品をつくる 生産体制

宇都宮  
工場



当社子会社である中外製薬工業株式会社の宇都宮工場は、1990年に日本初の本格的バイオ医薬品の生産拠点として創業しました。現在では、世界115ヶ国以上で販売する抗体医薬品を生産するなど世界最高レベルのバイオ医薬品製造を行っています。



工場とは思えない、広々とした吹き抜けの空間で来客者をお出迎えします。当工場で製造している製品一覧も展示してあります。



宇都宮工場名物の中央廊下の長さは360m! すべての建物が中央廊下とつながっているため、雨の日でも外に出ずに工場内を移動できます。

## 細胞培養 工程



### 種細胞培養工程

生産用種細胞を培養容器内の細胞培養用地に融解し培養を開始します。

## 第5回 株主様工場見学会のご報告

ご好評いただいている  
**宇都宮工場見学会**を、  
今年も実施いたしました!



2017年5月18日(木)中外製薬工業 宇都宮工場にて、5回目となる「株主様工場見学会」を開催いたしました。今回も多数のご応募をいただいたため、厳正な抽選を行い、当選された35名の株主様および同伴者様にバイオ医薬品の生産現場を見学していただきました。

## プレゼンテーション

1

取締役上席執行役員CFOの板谷から会社概要や抗体技術が世界的にも高い水準にあることを説明。次に2016年度より始動した3か年中期経営計画「IBI 18」の概要と今後の当社のあり方について説明を行いました。



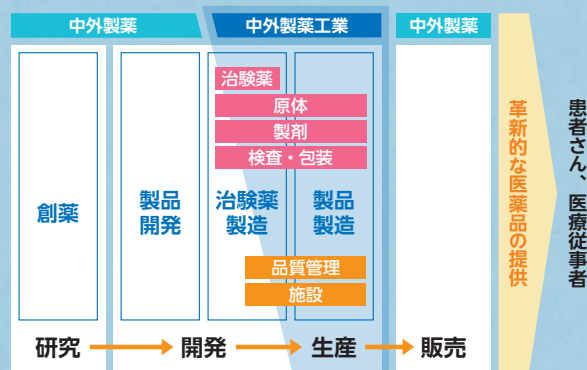


## 中外製薬工業について

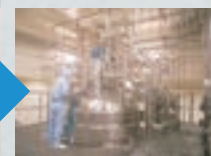
中外製薬工業は、トップ製薬企業を目指す中外製薬の生産機能を担い、宇都宮・浮間・藤枝の3拠点で中外製薬やロシュ・グループによって開発された革新的な医薬品および開発段階の治験薬を製造しています。

### ● 中外グループでの役割

中外製薬工業は当社が100%出資する生産に特化したグループ会社です。当社およびロシュ・グループの研究開発によって生み出された、抗体医薬をはじめとするバイオ医薬品や、高活性の合成医薬品、開発段階の治験薬の生産を行っています。



患者さん、医療従事者  
革新的な医薬品の提供



#### 生産培養工程

1万L培養槽へ移植し  
生産培養を行います。



#### 細胞分離工程

培養液から細胞を  
除去します。

## 中外製薬工業と宇都宮工場の紹介

工場内の見学に先立ち、中外製薬工業宇都宮工場長の西井よりバイオ医薬品の製造を担う宇都宮工場の見どころについて、映像を交えて説明を行いました。

### 工場内の見学

工場内の見学は少人数の班に分かれて行い、「アクテムラの原薬製造」や「アクテムラの製剤と包装」の様子を見学いただきました。各セッションではスタッフから説明を行い、活発な質疑応答が行われました。普段目にすることがない場所でもあるので、株主様からは細胞培養等の製造技術への深い関心と今後の画期的新薬に向けた期待の声をいただきました。





## 会社概要

**会社設立** 1943年(昭和18年)3月8日  
**創業** 1925年(大正14年)3月10日  
**資本金** 73,201,755,723円  
**従業員数** 7,384名(連結)  
**本店** 東京都北区浮間五丁目5番1号  
**本社事務所** 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号

## 役員

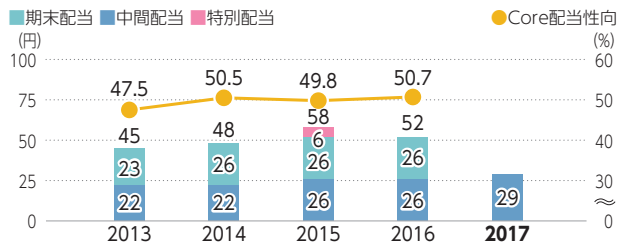
### 取締役

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 代表取締役会長   | 永山 治            |
| 代表取締役副会長  | 上野 幹夫           |
| 代表取締役社長   | 小坂 達朗           |
| 取締役上席執行役員 | 板谷 嘉夫           |
| 社外取締役     | 池田 康夫           |
| 社外取締役     | 奥 正之            |
| 社外取締役     | 一丸 陽一郎          |
| 取締役       | クリストフ・フランツ      |
| 取締役       | ダニエル・オデイ        |
| 取締役       | ソフィー・コロノウスキー-ボネ |

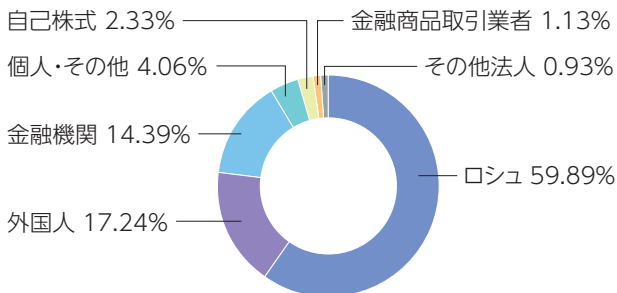
### 監査役

|       |       |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 横山 俊二 |
| 常勤監査役 | 富樫 守  |
| 社外監査役 | 原 壽   |
| 社外監査役 | 二村 隆章 |

## 1株当たり配当金およびCore配当性向の推移



## 株式分布状況



## 株式状況

発行可能株式総数 ..... 799,805,050株  
 発行済株式の総数 ..... 559,685,889株  
 株主数 ..... 23,604名

## 大株主 (上位10名)

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| ROCHE HOLDING LTD                             | 335,223 | 61.32   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                       | 24,605  | 4.50    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                     | 18,553  | 3.39    |
| JP MORGAN CHASE BANK 385147                   | 16,188  | 2.96    |
| JP MORGAN CHASE BANK 380055                   | 5,170   | 0.94    |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632                   | 4,077   | 0.74    |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 | 4,037   | 0.73    |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)                     | 3,925   | 0.71    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)                    | 3,840   | 0.70    |
| MSCO CUSTOMER SECURITIES                      | 3,667   | 0.67    |

※当社は自己株式13,079千株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含めておりません。  
 ※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式の数を控除して計算しております。

# 株主インフォメーション

今後のIR  
スケジュール

2017年 10月下旬 ● 第3四半期決算発表  
2018年 2月上旬 ● 通期決算発表  
3月下旬 ● 定時株主総会

ウェブサイトのご案内 >>> <https://www.chugai-pharm.co.jp/>

中外製薬

検索



最新のIR情報は  
こちらから

CSR活動

中外製薬の  
CSR活動は  
こちらから

病気とくすりに  
関する情報や中  
外製薬が取り組  
む活動をご紹介します。

株主・投資家向け情報



株主総会  
→ オンデマンド  
動画配信

株主総会のオンデ  
マンド動画配信は  
こちらから

新製品開発状況

最新の開発パイプ  
ラインはこちらから

中外製薬が  
よく分かるストーリー

中外製薬のことを3つ  
のステップでわかりやす  
くご紹介しています。



## 株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで  
**定時株主総会** 毎年3月  
**配当金** 期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日  
中間配当金受領株主確定日 毎年 6月30日  
**公告** 電子公告により行います。  
ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

**1単元の株式数** 100株  
**株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
(同連絡先)** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1\*  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
※2017年8月より変更しております。  
**上場証券取引所** 東京

単元未満株式  
買取・買増請求制度  
のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主様は、是非買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。なお、お手続きはお取引先の証券会社または三菱UFJ信託銀行(TEL.0120-232-711)にお申し出ください。

人々に驚きと喜びをもたらす新しい価値は、  
想像を超えたところで、発見される。  
常識の枠にとらわれることのない発想と  
アプローチが、世界を変えてゆく。  
中外製薬は、  
世界トップクラスの研究開発力と創造性で、  
まだ有効な治療法がない領域で新薬を生み出し、  
待ち望んでいた多くの人の新しい時間を  
生み出しつづける。

新薬が生まれる。  
世界が変わってゆく。

すべての革新は患者さんのために

創造で、想像を超える。



中外製薬



ロシュ グループ

UD FONT  
by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC(揮発性有機化合物)が1%未満のノンVOCインキを使用しています。印刷は有害物質を含む湿し水を使用しない、水なし印刷を採用しています。



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社

Roche ロシュ グループ

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1  
TEL.03(3281)6611 (代表)